

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハッピー川口樹モール教室		2025 年 10 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		二つの部屋が一つに広げられるため、利用児の人数によって臨機応変に開閉しています。 イベント時は特に支援室以外の廊下も活用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		毎日の人数配置を考えながらシフトを組んでいます。 急な休みが出た場合も余裕がない時にはSVに相談してヘルプを出しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	2階に事業所があり、階段のみのためベビーカーで来所される方は指導員が運ぶことで対応しています。 子どもにとって分かりやすいよう整えています。	来所するのに利用児が二階で階段しかないため、エレベーターがあったらよいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃をしている。安全に過ごせように配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	個別に対応出来ています。	時間帯にもありますが、クールダウン用の部屋を用意するには部屋数が足りないときがあります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	個別に対応出来ています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		常に保護者とのコミュニケーションを取ることで意見を聞く機会を設けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見交換や共有を盛んに行っていて、それを実現できるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		第三者評価は現在行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	積極的に研修に参加して資質の向上をめざしています。	新入社員研修以外の対面研修が少なと感じます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		HPに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		保護者や利用児のニーズを大切にしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		全員で話し合って進められています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援前には個別支援計画を確認して、支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	会社独自のアセスメントを使って聞き取りを行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	職員間で立案してプログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		専門職員の意見も聞き、プログラムに取り入れていきます。 利用児の様子を共有しながら展開発展できるようにしています。	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		課題やニーズに合わせて支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		職員間のコミュニケーションを大切に共有し、それを支援に反映できています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	日々の話や雑談を大切にしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		利用児の些細な行動や様子を活動記録に記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行い、支援の見直しが出来ています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管・担当職員が会議に参加できるように調整出来ています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		保健・医療等関係機関と連携が出来ています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		関係機関連携や電話での情報共有が出来ています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学引継ぎシートを用いて、学校との連携を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	3		都度の連携が出来ていないのが現状です。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		現在園と交流するイベント等実施出来ていません。
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		支援後のフィードバック、家族支援を用いて個別にて相談できる機会を設定しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		定期的にペアレントトレーニングを実施しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	契約時に説明が出来ています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		アセスメントを取る際は、利用児のニーズや保護者のご意見を基に個別支援計画を作成できています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		都度個別支援計画の目標・内容を説明し、同意を頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者のご希望があれば、都度面談を実施しています。また、フィードバックの中でお悩みがあった際には適宜相談できるように設定しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		適宜の開催が出来ているわけではないので各月等実施できるように検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談等気軽にお話しできるようにしていると共に迅速に対応出来ています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ハッピー通信を掲示しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きキャビネットを使用しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		利用児に関しては、口頭指示のみではなく視覚情報もプラスして支援を実施しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		まだ地域を招待するイベント等行っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		社内共有フォルダ（SharePoint）にて該当するマニュアルを職員がいつでも確認できるようにしています。また発生を想定した訓練も行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	消防訓練、洪水を予測した訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		見学时や契約時に確認をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約時にアレルギー同意書をいただいております、それに基づいた対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		全職員安全管理に必要な研修を受講しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		契約時に全保護者様にご説明をしているとともに利用者閲覧ファイルに格納している旨を周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットの共有を随時行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		基礎・応用と全職員が研修の受講をしています。また虐待案件が発生した際にはフロー通りの対応をしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束適正化委員会を基に研修参加をし、契約時にも身体拘束についてのご説明をしています。	